

様式1 令和元年度 宇陀市立 菟田野中学校 学校自己評価書							
教育目標 学ぶ意欲をもち、人のつながりを大切に、人を思い、協働する力を育てる～『非認知能力』を伸ばす～							
運営方針 教職員を適材適所に配置し、組織的に学校運営・学級経営を行うとともに、保護者や地域とともに学校を活性化させる。							
前年度からの課題		・基礎学力の徹底 ・学ぶ意欲の向上		・家庭学習		本年度重点目標 ○ 学力向上（客観的データに基づく取組） ○ 学級集団づくり（互いに高め合える集団・一人ひとりが生き活きと活動できる集団） ○ 自分たちで誇れる学校（達成感のある活動） ○ 保護者や地域に信頼される学校	
大項目	中項目	小項目	具体的評価項目・指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題・改善方針
I 教育活動に関するもの	(1) 基礎学力の定着と向上	① 学習指導計画	指導計画（シラバス）の作成と実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の習慣化のために「自主学習ノート」、わかりやすい授業のために「学び合い」活動に学校全体で取り組んだ。</li> <li>・家庭学習の時間が定着してきた。</li> <li>・研究授業や小中合同研修などで全職員で指導法などについて協議を重ねた。</li> <li>・県学力向上実践研究推進事業 協力校として研究を進めた。</li> <li>・県算数数学教育研究大会での授業公開を行った。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「シラバスを活用」保護者肯定的35%</li> <li>・「わかりやすい授業」生徒肯定的86%・保護者73%（昨年度比+14%）で、特に保護者評価が上昇した。</li> <li>・「学力向上にとっても役立つこと」で生徒が選択したものは「自主学習ノート38%、学び合い学習25%、映像機器使用19%放課後学習21%」と、取組が生徒に実感として伝わってきている。</li> <li>・「適切に評価」肯定的生徒87%(+5) 保護者78%(-8)</li> <li>・ふだんの家庭学習の時間、毎日30分もしていない割合が減少（4月→12月比） 1年50%→39% 2年16%→16% 3年23%→12%</li> <li>・授業がよくわかる 3年数69%→80% 3年国73%→80%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「シラバス」の内容の検討や使用方法をより広く伝える。</li> <li>・よりわかりやすい授業研究を進める。</li> <li>・「自主学習ノート」の定着で家庭学習の習慣はついてきたが、より「深い学び」につなげるための指導方法を研究していく。</li> <li>・継続することの大切さを伝え、工夫をしながら引き続き取り組んでいく。</li> <li>・「学び合い」活動の実践を積み重ねて授業改善を進めて行く。</li> </ul>
		② 指導方法の工夫改善	学力向上に向けた指導の工夫（学び合い等）とわかりやすい授業実践		A		
		③ 評価	適切な評価		A		
		④ 家庭学習の指導	家庭学習の習慣化のための指導の工夫と実践		A		
	(2) 自主的・主体的に行動できる生徒の育成	① 挨拶と掃除の定着	挨拶の習慣化と清掃活動の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会の挨拶運動や呼びかけ。</li> <li>・七夕集会・体育大会で、生徒実行委員による企画、運営を行い。合唱コンクールでも各クラス意欲的に取り組んだ。</li> <li>・各学年、活発な体験学習を行う。 1年：福祉体験学習・地域から学ぶ学習 2年：ふれあい体験・職場体験学習 3年：修学旅行での平和学習と進路に向けて3年に一度の行事「チャレンジ2019」を無事行うなど。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分から挨拶をしている」肯定的生徒89%保護者81%</li> <li>・「掃除を熱心に行っている」肯定的生徒92%</li> <li>・「生徒会・福祉委員会に積極的」肯定的生徒89%</li> <li>・「学級の一人として協力的」肯定的生徒95%</li> <li>・「学校行事が充実」肯定的生徒92%</li> <li>・「部活動に意欲」肯定的生徒83%</li> <li>・『「チャレンジ2019」充実していた』肯定的生徒91%</li> <li>・「学校に行くのは楽しい」92.4%。全国81.9%に比べて高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶と掃除を大切にすることは、今後も重視していく。</li> <li>・生徒会の活動が、生徒の主体性と個性を活かす活動となるよう進めていく。</li> <li>・部活動は、教育界全体の問題であり、大きな変革の時代に入って今までのようはいかないことがあることを認識し、新しい在り方を模索していく。</li> </ul>
		② 学級・学年指導の充実	学級活動・道徳・総合的な学習の時間の指導の工夫と実践		B		
		③ 生徒会活動の活性化	生徒が主体となって意欲的に取り組む		B		
		④ 部活動の活性化	安全に、生徒が意欲的に取り組む		A		
	(3) 人権意識の育成	① 人権教育指導計画	確かな人権意識を身につけさせる指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き方学習会での講演。2回</li> <li>・生徒集会での発表、縦割りで話し合い3回</li> <li>・七夕集会、体育大会での地域の方との交流。</li> <li>・うたのまちづくり協議会との連携（県大生との交流）など。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権に関する行事が充実」肯定的生徒94%</li> <li>・「いじめや暴力にあう心配が少ない」肯定的生徒93%</li> <li>・「一人ひとりを大切に教育」肯定的保護者76%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権を大切に教育は本校の伝統である。その強みを今後も活かしながら、時代に即した教材研究を進める。</li> <li>・地域の方との交流方法を、今後も考えていく。</li> </ul>
		② 指導方法の工夫改善	生徒の実態にあった題材と、工夫ある授業実践		B		
	(4) 生徒指導	① 組織的な生徒指導	組織的な取組で規範意識を高める指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年だけでなく学校全体での、情報の共有を大切に生徒の指導を行うことを常に大事にした。</li> <li>・連携したクラスでの動もめもあり、スクールカウンセラーの相談件数が増える。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「服装、交通ルールを守っている」肯定的生徒97%</li> <li>・「心配事を先生に話せる」肯定的生徒72%保護者82%</li> <li>・「PTA活動に積極的参加」肯定的保護者59%（昨年比+9）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も様々な場面を通して、ルールを守る社会性を育てると共に、自律心を持たせる指導を進めていく。</li> <li>・学校の情報を積極的に伝え、保護者や地域との信頼関係の構築に努める。</li> <li>・PTA活動への意識も上がる。今後も協働して進めていく。</li> </ul>
		② 教育相談・生徒理解	教育相談の充実とスクールカウンセラーの活用		A		
		③ 家庭との連携	家庭との連絡を密にし、連携を深める		A		
		④ 関係機関との連携	関係機関との連絡を密にし、連携を深める		A		
	(5) 特別支援教育	① 組織的な特別支援教育	生徒の特性を理解し組織的に特別支援教育を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育個別の指導計画を作成した。</li> <li>・特別支援教育部会を定期的に行い、教員の指導の共通理解を進めた。</li> <li>・授業のユニバーサルデザイン化の取組を続けている。</li> <li>・特別支援学級保護者会を年2回行う。</li> <li>・職員特別支援教育研修を2回、県立二階堂養護学校を招き行う。</li> <li>・市特別支援教育指導員の来校、年5回。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員で共通理解の場を毎月設け、個別の指導計画を基に指導を行った。</li> <li>・「UDAスタンダード」の実践は進んでいるが、授業のユニバーサルデザイン化は、まだまだ徹底しなければならない点などがある。</li> <li>・年2回の特別支援学級保護者会で、全職員が参加し、情報共有や交流を進めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修で「自立活動」について研修を行ったが、その実践を更に深める必要がある。</li> <li>・授業のユニバーサル化の視点を今後も大切にし、検討見直しを定期的に行う。</li> <li>・関係機関との連携を密にし、専門的な意見をききながら進める。</li> </ul>
		② 個別の指導計画	個別の指導計画を基にした、指導の充実		B		
		③ 家庭との連携	家庭との連絡を密にし、連携を深める		A		
		④ 関係機関との連携	関係機関との連絡を密にし、連携を深める		A		

様式2 令和元年度 学校自己評価項目（学校経営）

学校名【 菟田野中学校 】

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目・指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題・改善方策
Ⅱ 学校経営に関するもの	(1)組織運営	① 学校経営目標	学校経営目標の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育のグランドデザインを作成し、学校便りや学校ホームページ等で周知する。</li> <li>・教員の経験や能力を考慮した分掌配置を行う。</li> <li>・各校務分掌の会議を、定期的実施する。</li> <li>・チーム担任制を意識し、道徳授業や、日頃の指導に活かした。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標をグランドデザインとして周知し、具体的な目標を掲げ取り組んだ。</li> <li>・部活のない日を、ノー残業デイとした。</li> <li>・各分掌での会議も定期的に行い、情報共有等、組織的な運営を行うよう取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標の周知や広報を更に丁寧に行う。</li> <li>・働き方改革の視点を考えた、業務の効率化を考える。</li> <li>・各分掌の会議を定期的確実にに行い、その総括を次に活かせる体制作りを行う。</li> </ul>
		② 校務分掌等の連携	校務分掌の適正化と連携を密に行う		B		
		③ 会議の運営	定期的な開催と活性化		B		
	(2)研究・研修	① 研修の組織・計画・実施	組織的な運営と課題の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業を年に、教科研究3回（県指導主事を招聘）、人権教育3回実施、全教員で研修した。</li> <li>・計画的に、かつ必要に応じて、職員研修を実施。</li> <li>・県算数数学教育研究大会での授業公開を行った。</li> <li>・県学力向上実践研究推進事業 協力校として研究のまとめを行う。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県算数数学教育研究授業や県学力向上実践研究推進事業の活動を活かし、職員の授業研修が進んだ。「学び合い」活動等、確実に定着してきている。</li> <li>・実情に即した講師を招いての研修を行えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き「わかる授業」作りを進める研修、研究を進めていく。</li> </ul>
		② 校内研修	実態に即したテーマと実施の工夫		A		
		③ 授業研究	活発な交流と成果を実践につなげる		A		
	(3)保健管理	① 学校保健安全計画	適切な学校保健安全計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健安全計画に従い、共通確認の下進める。</li> <li>・熱中症対応指針を作り、学校で共通確認を行い、WBGTの測定を行う。</li> <li>・保健便りの発行。</li> <li>・学校カウンセラー来校、月1回。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対応をその都度迅速に行い、感染症の予防に努めた。</li> <li>・アレルギー対応等、繰り返し確認を行い、対応の統一を図った。</li> <li>・学校カウンセラーによる相談の利用数があり、より生徒の指導に役立っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策として、細かい保健指導を今後も徹底していく。</li> <li>・アレルギー対応の確認、研修は今後も定期的に行う。</li> <li>・生徒観察を怠らず、教員の情報共有を大切にす。</li> <li>・学校カウンセラーの有効な活用。</li> </ul>
		② 保健指導	保健指導の充実		B		
		③ 健康相談体制の整備	教育相談・学校カウンセラーの活用		B		
	(4)保護者・地域との連携	① 学校情報の発信	学校ホームページ・学校便り・学年便り等の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページの更新を毎月行い、行事写真・学校便り・学校からのお知らせ等の広報を行った。</li> <li>・学校便り、学年学級便りの発行。</li> <li>・オープンスクールの実施。当日は各学年の時間や合唱コンクールを行った。</li> <li>・「うたのまちづくり協議会」との連携事業、2回（県立大生との交流等）行う。</li> <li>・吹奏楽部の各地域行事での演奏。</li> <li>・小中全教員による小中合同研修を年3回行う。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校、学年便りや学校ホームページで様子がわかる」肯定的保護者78%</li> <li>・「配信メールが役に立っている」肯定的保護者90%</li> <li>・小中連携で研修、小中教育連携会議が年3回定着し、9年間での目指す教育を、小中の全教員で話し合う形ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の活動、取組の目指すもの等、より丁寧な広報に努める。</li> <li>・義務教育9年間を通した教育を考え、菟田野の子どもたちを育てる体制を作っていく。</li> </ul>
		② 学校(授業)公開	授業参観・オープンスクールの実施		A		
		③ 家庭・地域との連携	地域活動への参加・地域住民の参加		B		
		④ 校種間連携	小中の連携を進める		B		
	(5)教育環境の整備	① 施設設備の有効活用	学校施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館、格技室の地域への開放。</li> <li>・教材、教具を適正に管理し、計画的に使用。</li> <li>・冷房が各教室に設置される。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の開放を積極的に行い、有効に利用された。</li> <li>・教材、教具の管理は適正に行い、活用することができた。</li> <li>・冷房機器の適切な使用ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な活用に努める。</li> </ul>
		② 教材教具の整備	教材・教具の整備、活用状況		B		

様式3 令和元年度 学校関係者評価書				
学校名		宇陀市立菟田野中学校		
実施日		令和2年3月5日		
大項目	中項目	達成状況・取組状況について	取組の適切さについて	改善方策について
I 教育活動に関するもの	(1)基礎学力の定着と向上 (2)自主的・主体的に行動できる生徒の育成 (3)人権意識の育成 (4)生徒指導 (5)特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて学習しており、楽しそうなのも良い。</li> <li>・挨拶と掃除が大切な基本となる。それができているのが良い。ただ、少し元気という点ではおとなしくなっているか。</li> <li>・「自主学習ノート」について、小中9年間、共通の取組として進めていること家庭学習が定着してきていること、またそれを小中で連携してやっていることは、とても良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に、課題をとらえ、工夫、対応が良くされている。</li> <li>・今、非認知能力が大事だと注目されている。そこに注目し、学校中心に進めていることに意義がある。</li> <li>・学力向上の取組も、成果が出ているので、このまま継続していくことで良い伝統となってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの課題も、菟田野の規模が少人数であることを強みにしてほしい。小中で連携して取り組んでいけば、補っているのではないか。</li> <li>・学年を越えたムードメーカーの生徒を、これからも育てていってほしい。</li> <li>・学力の二極化への対応を小中で共有してほしい。</li> </ul>
II 学校経営に関するもの	(1)組織運営 (2)研究研修 (3)保健管理 (4)保護者・地域との連携 (5)教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム担任制として、学年全体で子どもを見ていくことは、仕組みとして、安心感につながる。</li> <li>・まちづくり協議会との連携等、地域とのつながりを大切にすることは、とても大切なことで、良い。</li> <li>・吹奏楽部を中心に地域との交流は、大変良く、町が元気をもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ喜びを、これからもつけていってほしい。</li> <li>・小中での教育連携部会は、小中共通の意識で教育を進めていくことが大切であり、大きな意義がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が若くなっているので、長期的視野と、ルールを徹底することの重要性を大切にしてほしい。</li> <li>・学び合い活動をするためのグループ活動は、教員のスキルアップが欠かせない。指導方法の研修、確認を大切にしてほしい。</li> </ul>
【その他学校に対する意見】				
特になし				

菟田野中 学校評価アンケート（保護者用）令和元年度		全体					合計	%
		A	B	C	D	E又は無回答		
(1)	体育大会や合唱コンクールなどの学校行事は、充実している。	54	35	6	4	1	100	%
(2)	七夕集会や生き方学習会、全校集会など、人権に関する行事は、充実している。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		51	36	4	6	3	100	%
(3)	全体的に、授業はわかりやすいと思う。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		13	60	18	6	4	100	%
(4)	お子さんは、家庭学習をしている。(宇陀市「UDAスタンダード」で90～120分を目標としています。)	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		24	21	42	14	0	100	%
(5)	お子さんの学力や努力は適切に評価されている。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		32	46	19	3	0	100	%
(6)	一人ひとりを大切に作る教育に重点をおいている。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		32	44	13	8	3	100	%
(7)	お子さんは、部活動に積極的に参加している。 A)当てはまる B)どちらかといえば、当てはまる C)どちらかといえば、当てはまらない D)当てはまらない E)部に入っていない	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		60	25	3	4	8	100	%
(8)	いじめや暴力にあう心配は少ないと思う。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		28	49	10	11	3	100	%
(9)	お子さんは、自分から進んであいさつをしている。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		35	46	17	1	1	100	%
(10)	常日頃、学校の決まりを守らせようとしている。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		60	36	3	1	0	100	%
(11)	お子さんは、学校の服装や交通についてのルールを守っている。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		75	25	0	0	0	100	%
(12)	お子さんの生活等(進路も含む)について、相談できる先生がいる。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		40	42	11	3	4	100	%
(13)	学校便りや学年便り、学校ホームページなどによって学校の様子がよくわかる。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		29	49	15	4	3	100	%
(14)	行事等について学校からの配信メールが役に立っている。 A)当てはまる B)どちらかといえば、当てはまる C)どちらかといえば、当てはまらない D)当てはまらない E)配信メールに登録していない	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		54	36	4	1	4	100	%
(15)	PTA活動に積極的に参加している。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		17	42	32	10	0	100	%
(16)	お子さんへの学習指導にシラバス(学習の仕方、評価の方法など)を活用している。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		7	28	46	18	1	100	%
(17)	お子さんと携帯電話やスマートフォンの使い方について話をしている。 A)当てはまる B)どちらかといえば、当てはまる C)どちらかといえば、当てはまらない D)当てはまらない E)携帯電話等を持たせていない	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		28	35	18	0	19	100	%
(18)	お子さんには、家族の一員としての役割を果たさせている。	A	B	C	D	E又は無回答	合計	
		46	42	10	3	0	100	%

## 菟田野中 学校評価アンケート（生徒用）令和元年度

		全体								
		A	B	C	D	E又は無回答	合計			
(1)	体育大会や合唱コンクールなどの学校行事は、充実していますか。	74	18	7	1	0	100			
(2)	七夕集会や生き方学習会、全校集会など、人権に関する行事は、充実していますか。	65	29	3	2	0	100			
(3)	全体的に、授業は分かりやすいですか。	30	56	12	1	0	100			
(4)	授業中、先生の話や友達の話、集中して聞けていますか。	40	45	13	1	0	100			
(5)	授業や話し合いで、意見を言うことができますか。	40	35	20	4	0	100			
(6)	家庭での学習をしていますか。(宇陀市「UDAスタンダード」で90～120分を目標としています。)	35	31	27	7	0	100			
(7)	学力や努力は適切に評価されていると思いますか。	45	42	13	0	0	100			
(8)	生徒会、福祉委員会等で積極的に活動することが出来ましたか。(委員への協力できましたか。)	53	36	8	3	0	100			
(9)	部活動に意欲を持って取り組みましたか。 A)当てはまる B)どちらかといえば、当てはまる C)どちらかといえば、当てはまらない D)当てはまらない E)部に入っていない	61	22	7	0	10	100			
(10)	あなたは学級の一人として協力できましたか。	66	29	4	0	0	100			
(11)	いじめや暴力にあう心配は少ないですか。	74	19	4	2	0	100			
(12)	家族に、学校での出来事をよく話しますか。	45	34	17	4	0	100			
(13)	だれに対しても、自分から進んであいさつをしていますか。	47	42	11	0	0	100			
(14)	学校の服装や交通についてのルールは守れていますか。	75	22	1	1	0	100			
(15)	「朝の学習の時間(8:25～8:35)」を有効に活用できていますか。	60	31	4	4	0	100			
(16)	掃除時間は時間いっぱい熱心に行っていますか。	49	43	7	1	0	100			
(17)	心配事や困ったことを、話せる先生がいますか。	36	36	22	6	0	100			
(18)	自分の学力向上に、とても役にたったと思うものをあげてください。(複数回答可) A)自主学習ノート B)学び合い学習 C)映像機器の使用 D)放課後学習 E)朝の学習 F)板書のカードなどの工夫 G)その他 H)特にない	38	25	19	21	11	9	0	0	20
(19)	「チャレンジ2019」は充実していましたか。	81	10	6	3	0	100			